

## 〔学 会〕

## 東京女子医科大学学会 第39回総会

## 一般演説の追加・質問・応答要旨

昭和48年9月30(日)

於 東京女子医科大学本部講堂

(総会演説の抄録は本誌第43巻7号に掲載した)

## 4. 加温低張液処理法によるX染色体の特異的染色法

(第二解剖) 神田 尚俊

質問 高尾 篤良(心研)ご発表の方法のヒレのX染色体の染色に応用したことがありますか。

応答 神田 尚俊(第二解剖) peripheral blood of the cultured cell を用いた実験では, mouse の場合程 clear には出現してきません。現在, 方法の改良を検討しております。

## 8. 防燃剤の毒性について

(第二衛生) 山田三根子・他3名

質問 高尾 篤良(心研)呼吸器系統の臓器の変化についてはいかがでしょうか。

応答 山田三根子(第II衛生)生体作用がいつさい不明であったため, まず第1回目の実験で主に腹部臓器について検索した。他の臓器については以後実験を行なうつもりである。

## 9. 妊娠後期仰臥位低血圧症候群の循環動態からみた基礎的および臨床的検討

(産婦人科)

黄 長華・大内 広子・他4名

追加 大内 広子(産婦人科)妊婦に仰臥位低血圧症候群のおこつた人に, 特に小さい時代のことをたずねたことはありません。しかし, われわれの妊婦の仰臥位における shock をおこすことは, 下大静脈の圧迫による静脈還流の障害が主ですが, また神経因子も関与しております。案外に関連性があるかもしれません。

## 10. いわゆる起立性調節障害児について

(第二病院小児科) 西尾 政子・草川 三治

追加 草川 三治(第二病院小児科)O.D. という名前に対しては, 私共は必ずしも賛成していない。自律神経失調といつても, 自律神経そのものの異常ではなく,

自律神経の示す態度は非常に不安定で, これは生体のリズムのずれと関連が強いと考えている。

## 11. 長期観察し得た障害児の予後評価

(中央リハビリ) 矢尾板孝子・山形 恵子

質問 高尾 篤良(心研小児科)障害児のみならず, 老人にわたるまで問題は多いと思いますが, 先生の御答えでは, リハビリテーションセンターは人口に対してどの位の割で必要なのでしょうか。

応答 山形 恵子(中央リハビリ)理想を言えば, 1~2才に1カ所, 0才から老人までのリハビリテーション施設が望まれますが, 現在公立は県単位に1~2カ所というところですよ(東京都は例外です)。

## 12. 未熟室における感染予防に対する一考察

(微生物)

○中野 寿夫・吉岡 守正・他4名

(小児科) 横田 和子・他3名

質問 草川 三治(第二病院小児科)緑膿菌が検出されて, 患者が新しく発生することはなかつたか。流しの場合, 検出された所は排水口に近い所か。

質問 大内 広子(産婦人科)第2回の検査と第3回の検査数がちがいますか, 出なかつたからおやりにならなかつたのでしょうか? 私のとくに関心をもっております哺乳カテーテルの検査が出ておりませんのでお伺いたします。

応答 横田 和子(小児科)検査期間中, 感染による症状を示したものは1例もなかつた。他の病院の施設では, 髄膜炎に罹患した例の報告もあり, その点は特に注意していた。

栄養カテーテルからはなかなか緑膿菌が消失しなかつたが, これは使いすての消毒したビニールの手袋を使用して, 毎日とりかえるという方法をとつたにも拘らず, 完